

サン・アビリティーズ大館

大館勤労身体障害者教養文化体育施設

ガオープン

12月16日から

体育室を一般開放

雇用促進事業団が、市民文化会館の西側に建設をしていた勤労身体障害者教養文化体育施設「サン・アビリティーズ大館」が完成。十一月十五日に関係者およそ百人が出席して開館式が行われ、完成を祝いました。この施設は働く障害者の健康増進や教養文化の向上を図るとともに、市民との交流を深め合うために建設されたもので、十二月十六日から一般の方々にも開放されます。



▲開館を記念して秋田・青森車イスバスケット交歓試合が真新しい体育室で行われました。

「サン・アビリティーズ大館」は、市が雇用促進事業団に敷地を提供し、およそ三億円で建設されたものです。

完成した施設は、鉄筋コンクリート平屋建てで、延床面積一千五百五十八平方メートル。城西体育館競技室とほぼ同じ広さの体育室（バレーボールコートでは二面、バドミントンコートでは六面とれます）、図書・談話コーナー、十四畳敷の

教養文化室、テレビやステレオの備え付けられている視聴覚兼音楽室、多目的に利用できる研修室、それに相談室などが配置されています。さらに通路には点字歩道盤や手すり、専用トイレなども設けられており、働く障害者の総合的な施設となっています。

また、現在この施設の隣りに建設中（十二月末完成予定）の中央公民館とも渡り廊下で結ばれることになり、有機的な活用も図られるものと期待されます。

この施設の管理運営は、事業団から秋田県に、さらに当市（中央公民館が管理）が再委託を受けて身体障害者はもちろんのこと一般市民にも開放するものです。なお、体育室は十二月十六日（受け付けは十二月一日）から、そのほかは来年一月末から利用できます。

＜利用するときは＞
時間・午前9時～午後9時30分
休館日・祝日
12月28日～1月4日

料 金・障害者及びその付き添いの方は無料、また一般の方も原則として無料です。



▲建物の外壁は、文化会館と同じ薄いベージュ色です。

申込み・同館にある利用申込書に必要事項を記入の上、申し込んでください。なお、障害者の方の利用は三カ月前から、一般の方は一カ月前から受け付けられます。

◆サン・アビリティーズ大館（中央公民館）
☎42-4369（代）

※サン・アビリティーズ障害者もつの方々の能力が太陽に向って伸びてほしいという心をこめてつけた愛称です。

市長の対話ノート



No.122

サン・アビリティーズ 大館誕生

勤労身体障害者教養文化体育施設（愛称、サン・アビリティーズ大館）が先月十五日完成いたしました。建設にご尽力くださいました労働省、雇用促進事業団並びに秋田県に心からお礼を申し上げますと共に、建築にご難儀をおかけした施工者、身障協会の方々にも厚くお礼申し上げます。

思えば一昨年の暮れ、この事業の採択に向けて走り回ったことを思い起こします。労働省関係の事業からは、それならばとあつちこつちをかけたわり決め手は、「この種の施設は郊外に追いやられがちですが、当市では市街地真中に、この福祉施設を建てたい」といって陳情したことでした。

人間として平等の生命と権利が保証されながら、自分の意に反して心身にハンディをもったからといって、社会からもハンディを受けてよいのではありません。

障害をもつ方々が満足できる社会は、障害をもたない方も満足できる社会なのです。そのことを今こそしっかりと意識したいものです。

この施設を障害をもつ方と、もたない方のコミュニケーションの場として最大限に活用していただき、差別のない、思いやりのあふれる地域社会づくりを進めてまいりたいと思います。

留山 健治 市長